



卒業論文作成セミナー

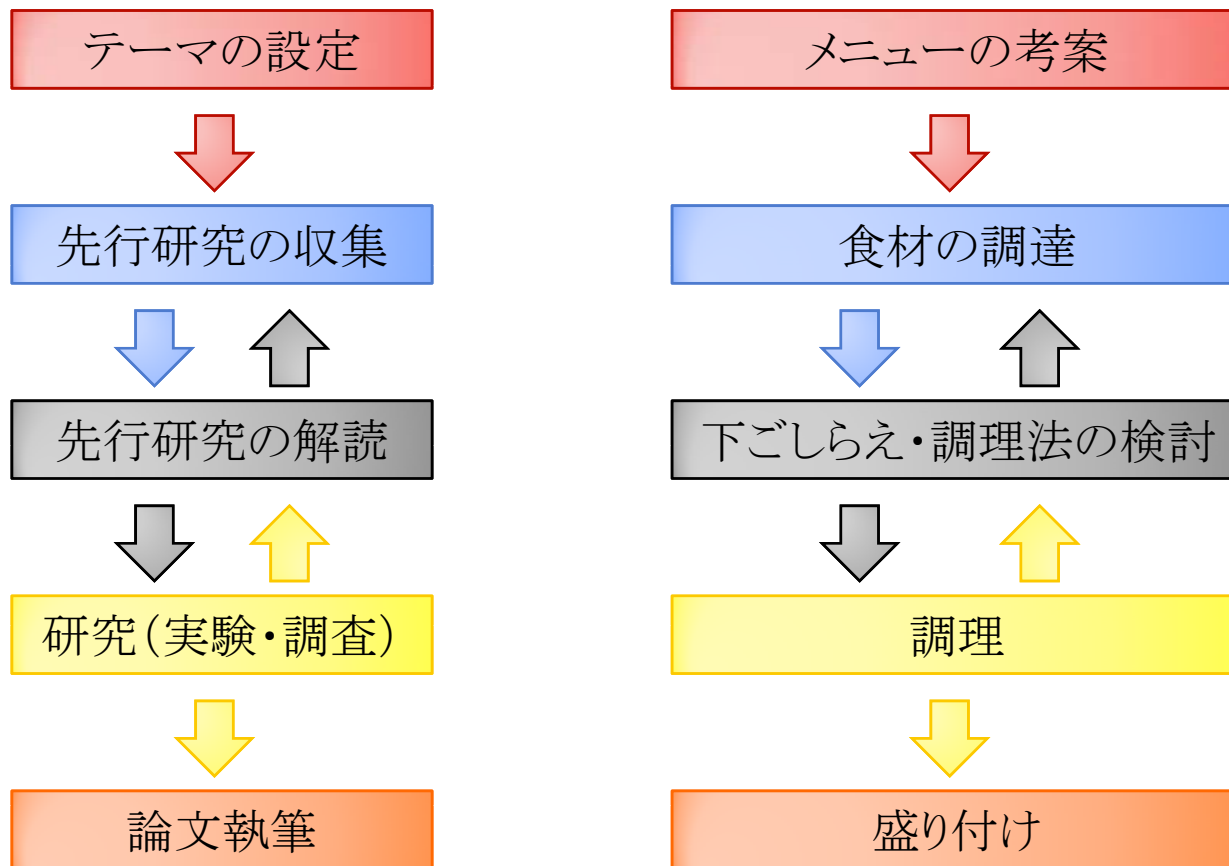
論文の書き方、引用の仕方、文献リストの作成方法

本日のセミナーの流れ

- 導入
 - 卒論ってなに？
 - 図書館を使おう！
- 論文作成10のステップ
- 卒業論文作成の手引き【執筆編】
 - 論文の構成
 - 論文の「書き方」に関する注意事項(要点)
- 卒業論文作成の手引き【引用編】
 - 引用とは
 - 引用の仕方
 - 出典の明示の仕方
- 引用文献の記述方法:演習

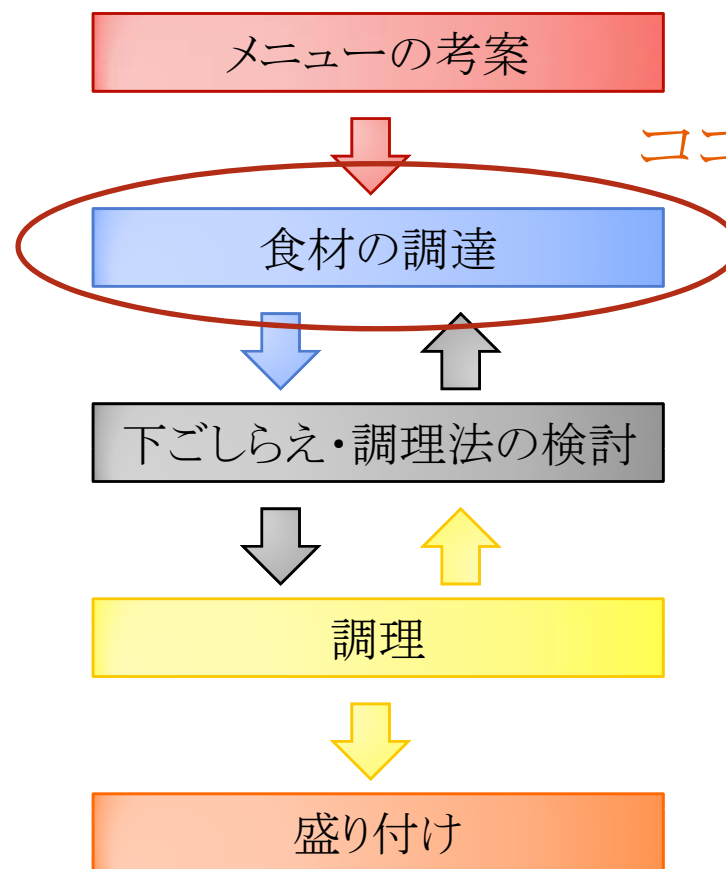
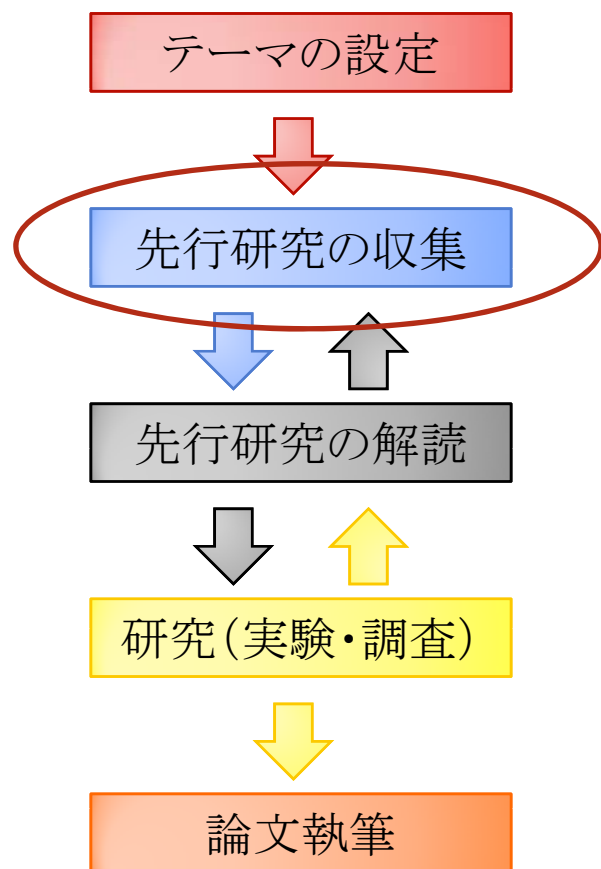
卒業論文(卒業研究)ってなに？

- 料理にたとえてみよう



図書館を使おう！

○ いつ使う？



図書館を使おう！

○ 何に使う？

- 図書館にある資料はすべて無料で使える
- なくても、他の図書館からコピーや現物を取り寄せられる
- 今回のようなセミナー情報も手に入る
- レファレンス・サービス
 - 探している文献が見つからない・・・
 - ある概念の定義、具体的な事柄がわからない・・・

○ 使い方がわからない

- 何か困ったら来れば良い！
- わからないことがわかるようになる

論文作成の流れ

- 10のステップ
 1. テーマの選択
 2. 事前調査
 3. 仮アウトラインの作成
 4. 関連文献の調査
 5. 文献の入手
 6. 文献の読解と整理
 7. 最終アウトラインの作成
 8. 執筆・校正（執筆編）
 9. 出典の表示（引用編）
 10. 仕上げ

出典:レポート・論文を書こう! 誰にでも書ける
10のステップ (DVD.参考資料16)

執筆編

7 レポート・論文を効率的に書くために知っておきたいこと

野口悠紀雄『「超」発想法』

- 発想の基本原則

発想は、既存のアイデアの
組み換えで生じる。
模倣なくして創造なし。

既存のアイデアの組み換え(例)

- ハイブリッドカー
 - 自動車はガソリンで走る
 - ガソリンの高騰・枯渇、ガソリンによる大気汚染(問題)
 - 電気で走る自動車を作れないか(組み換え)
 - 充電するスタンドの設置が追い付かない(問題)
 - 自家発電できないか(組み換え)
 - ガソリンで走行中に充電する(ハイブリッドカー)

エルーシブ (伊丹敬之『創造的論文の書き方』)

○ ルール

- 神様役になった人が、自分が決めたルールを基にカードを出していき、他の人がその法則を当てるゲーム

○ 神のカードの出し方

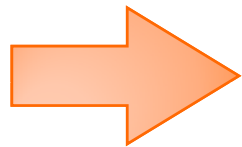
- 自然界の現象・事象と同じ

○ ルールの推測

- 仮説を立てることと同じ
- 仮説に当てはまらないカードの出方
- 新たな仮説の想像

論文を書く上でもっとも重要なこと

- 卒業論文は「研究の成果」
 - 新たな知見を提供＝新規性(新たな発想)
 - 過去の研究のレビュー(文献の読み込み)＝既存のアイデア
 - 着地点(研究の落としどころ)の吟味＝どう組み換えるか



テーマを選んだ理由
何を明らかにするのか

論文の7割

論文の構成要素

論文

三部構成

序論

- 研究背景
- 研究の目的
- 本論の構成
- etc...

本論

- 研究の方法
- 調査・実験の概要
- 調査・実験の結果
- etc...

結論

- 調査・実験の結論
- 本論の主張(仮説検証の結果)
- etc...

構成要素(1) 研究背景／研究動機

○ 説明

- 研究対象(テーマ)は、過去にどんな研究がされてきたか
- 何故その対象に着眼したか

○ 書き方

- 本論・結論を書き終えてから書く
- ア) 比較的長い期間支持された理論
- イ) それを強固な根拠で支持した理論
- ウ) それらに対する反証
- エ) 最近の動向か、大きな転換／転機 など

構成要素(2) 研究の目的

- 説明
 - 研究対象(テーマ)について「自分が」どのような研究をするか
- 書き方
 - 背景で述べた論文と異なる(同じ)ところは何か
 - 「Aを明らかにしたい」が鉄則

構成要素(3) 本論の構成

- 説明
 - 書いた論文の章立て
- 書き方
 - 「第一章では、……。第二章では、……を述べ、それを受けて、第三章では……。第四章では、……。最後に第五章では……を述べる。」など

序論の構成

- 序論は最後に書く
- 序論はあくまで「序論」
 - A4で2～5ページ程度
- バランス
 - 序論:本論:結論 = 1:8:1 or 2:7:1

構成要素(4)用語・概念の整理

○ 説明

- 特殊な用語・概念、新しい言葉など
- 本論での意味を提示

○ 書き方

- 「A氏が述べているように、BとはCのことであり、ここではA氏にしたがい、次のように定義した」
- 「D氏はEについてFと述べているが、本論ではこれを次のように定義し直して用いた」 など

構成要素(5) 研究の方法

- 説明
 - 文献レビュー、社会調査(アンケート)、実験
 - 研究目的を達成するために最適な方法
 - 目的が決まれば方法も決まる
- 書き方
 - 「○○○を明らかにするために、本研究では、来館者に対する質問紙調査によって、利用者の意識を把握する。さらに、調査結果の分析を元に、○○○について考察を加えるものとする。」など

構成要素(6) 調査・実験の概要

○ 説明

- レビュー: どんな資料を読んだか
- 社会調査: 対象者や期間、方法(郵送、訪問、質問紙等)
- 実験: どんな機器・設備か、何人サンプリングしたか

○ 書き方

- 「〇〇という文献から、××の箇所を抜き出し、・・・」
- 「〇月×日～△日の間に質問紙を郵送し、・・・」
- 「〇〇というコンピュータ上の刺激に対して、・・・」
など

構成要素(7) 調査・実験の結果

- 説明
 - 行った調査・実験の結果を詳細に
 - 結果のみに着眼し、考察は別途
- 書き方
 - 文献(9)のp.98～を参照

本論の構成

- 全体でもっとも長い部分
 - 何章か章立てを作る(少なくとも二章分)
- 材料とシナリオがあれば筆は進む
- 文章の形態、誤字・脱字は気にせずに
 - 正確な論理展開を意識して
 - 校正は後回し

構成要素(8) 結論(仮説検証)

○ 説明

- 調査・実験を行った結果、仮説は
 - 検証されたのか
 - 部分的に妥当性が認められたのか
 - ある条件化では正しいのか

○ 書き方

- 研究のクライマックス。力の限り書き連ねる。

構成要素(9) 本論の主張／今後の展開

○ 説明

- 結論を受けて、改めて明らかにできたことを述べる
- それによって研究対象にどんな影響があるのか
- 新たに生じた問題点
- 検証した仮説から引き出せる新たな仮説
- 対象テーマの今後の深化の方向性

○ 書き方

- 執筆の途中で全体を把握できていればOK

結論の構成

- 結論は明確に！
 - 自信のないことは書かない

効率の良い執筆作業

- おおまかな構成を練る
- 改めて、関連文献を洗い直す
- 構成を完璧に決める
- ともかく一度、一挙に全部書いてみる
- 書きやすい章から仕上げにかかる
- 部分放置して頭を冷やす

出典:酒井聡樹(9) p.158-163

論文らしい文章とは(1)

- 一文は短く、一文一意 (1 sentence 1 meaning)
 - 一文はできる限り短くする
 - 一文で一つのことしか述べない
- 段落を意識して、見た目にも読みやすく
 - 基本は意味段落単位だが、形式段落も活用
 - ワードプロソフトA4標準設定で5～8行

論文らしい文章とは(2)

- 普通読めない漢字、詩的な表現は使わない
 - PC辞書の変換に頼らずに
 - 「なんとなく論文っぽい」言葉は×
 - 自分しか分からない表現は×
- 余分なものは書かない
 - 「核」と「それを支えるもの」
 - ×:体言止め,「・・・だと思ふ」,「・・・ではなかろうか」

論文らしい文章とは(3)

- 結論が先、その後に理由
 - ×「Aであり、Bであり、Cである。だからDである。」
 - ○「Dである。理由は次の三点があげられる。1点目はAである。そして、二点目はBであり、さらに3点目としてCもあげられる。」
- 逆説の接続詞に注意
 - ×「Eだが、Fだが、Gだが、Hである。しかし、Iである。」

論文らしい文章とは(4)

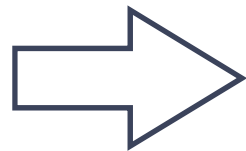
- 結論として「べき」論は述べない
 - ×「地球温暖化は一人ひとりの心がけ次第で解決する。全世界の人間が、より地球温暖化に関心を持つべきだと思う」
 - ○ はじめの「問い」に答える形の結論で
- 肩の力を抜いて
 - 構えすぎたり、背伸びしたり、小難しい表現は避ける
 - 論文の目的は、読者に「考え」を「伝える」こと

推敲の極意(1)

1. 声に出して読め！
 - 文章のおかしな部分が一目(耳)瞭然
2. 印刷して読め！
 - PCの画面では思った以上に見付からない間違い
3. 他の人に読んでもらえ！
 - 自分だけで見るのも限界がある・・・

推敲の極意(2)

- 自分の書いたものは、100回は読み直せ！？
 - 数だけ多くても意味がない
 - 100回行うにしても、効率的に！



研究は常に時間との勝負！

具体的な推敲方法は、文献リスト(8) p.138～参照



引用編

32

引用の仕方、引用文献リストの作成方法

引用とは？(1)

○ 引用

- “自分の説のよりどころとして他の文章や事例または古人の語を引くこと”(広辞苑第五版からの引用)

○ 引用の種類(便宜的に)

- アイディア引用： 引用元文献の考えや結論などを一度自分の言葉にしてから引用する。(「参照」・「参考」とも)
→ 例)
- 表現引用： 引用元文献の文章をそのまま自分の論文内に取り入れて、自分の論理を補強する。(単に「引用」とも)
→ 例)

引用とは？(2)

○ 引用の原則

- 著作権法第三十二条第一項

- “公表された著作物は、引用して利用することができる。この場合において、その引用は、公正な慣行に合致するものであり、かつ、報道、批評、研究その他の引用の目的上正当な範囲内で行なわれるものでなければならない。”

- 三つの原則

- 主従関係： あくまでも引用は自分の文の従属
- 明瞭区分性： それが引用だとわかるように
- 出典明示： 引用元を必ず明記すること

具体的な引用の仕方

- 具体例参照
 - 例1 例2 例3
- 「」で括る！
 - その他、‘シングルクォーテーション’や“ダブルクォーテーション”、《ギユメ》 などもある
- インデントを下げる！
 - 長い文を引用する場合は、前後に改行を入れて、かつ引用部分のインデントを、地の文より下げる

参考・引用の意義(1)

- なぜ参考・引用するの？
 - 「アイデア(理論)の組み換え」のための礎
 - 過去を踏襲しなければ机上の空論
- 参考・引用しなきゃだめ？
 - 上記の通り
 - 新規性を打ち出すこと \neq 過去を無視すること

引用・参考の意義(2)

- そりゃ、何冊かは本読んだけど・・・
 - 何を参考にしたか正直に引用しないと、盗作あるいは剽窃となる。卒業論文だったら卒業できないこともあり得る。

- でも新規性を打ち出すべきでしょ？
 - もちろん。ただ、あなたはその道のプロではないので、あなたが言ったことの信用度は限りなくゼロに近い。だから、その道のプロの言葉を借りて、“論理武装”するのである。

出典明示の方法

- もっともベーシック
 - 引用した部分の後ろに連番を振る
 - 連番の通りに、巻末にリストをつける → 例
- その次
 - 50音(アルファベット)順のリストを作成する
 - 引用した部分の後ろに括弧書きで著者名と年号を振る
(ex. (John Doe, 1992))
 - 同じ著者で年号も同じの場合
ex. (John Doe, 1992a) (John Doe, 1992b)

文献記述の方法

○ 基本形態

● 図書

○ 著者名『タイトル』出版社 出版年 ページ数

○ Author. *Title*. Publisher, Public date, page.

『』 (二重鉤括弧) で括る

『』 (二重鉤括弧) で括る

● 論文

○ 著者名「論文タイトル」 巻号 ページ数

○ Author. "Article Title" *Journal Title*, Public date, vol. , no. , Page.

「」 (鉤括弧) で括る

“” (ダブルクォーテーション) で括る

文献記述の例 (架空のデータ含)

佐藤飛鳥 『論文の書き方：基礎編』 学習院大学図書館 2008年 4p.

佐藤飛鳥. 論文の書き方：基礎編. 学習院大学図書館. 2008, 4p.

佐藤飛鳥 「公共図書館の成果(アウトカム)指標に関する研究」 『図書館情報メディア研究』 2004年 2巻2号 p.61-78.

佐藤飛鳥. 公共図書館の成果(アウトカム)指標に関する研究. 図書館情報メディア研究. 2004, vol. 2, no. 2, p. 61-78.

Asuka SATO. A Study of Outcome Assessment in Public Library. *Library, information and media studies*. 2004, vol. 2, no. 2, p.61-78.

Asuka SATO. “A Study of Outcome Assessment in Public Library”. *Library, information and media studies*. 2004, vol. 2, no. 2, p.61-78.

参考) SIST

- SIST (Standard for Information of Science and Technology)
 - 科学技術文献の流通を円滑にするために設けられた統一的基準
- SIST 02 (参照文献の書き方)
 - 「参照文献の書き方」の統一基準(を目指している)
 - Webページ(SIST) → SIST02
 - 2007年3月に改訂され、だいぶ分かりやすくなった

出典明示のアドバイス

- 特に決まった形に統一されているわけではない
 - ただし、自分の書いた論文内では統一
- 何に従う？
 - 指導教官の論文を読んで、リストを真似る
 - その分野の権威雑誌(コア・ジャーナル)に従う
 - SIST02に従う

GOOD LUCK !

良い論文が書けるように、
頑張ってください！！

演習編

引用文献の記述方法

44

演習問題

1. GLIM/OPACを開き、好きな検索語で検索してみよう。検索結果の3番目にヒットした本を参考にしたこととして、その出典を明示してみよう。
2. CiNiiを開き、好きな検索語で検索してみよう。検索結果の5番目にヒットした論文の終わりから5ページ目を引用したこととして、その出典を明示してみよう。

引用の具体例(1)

○ 参考の例 橋本槇矩教授の場合

上に述べた「肉体なき視線」とは、小説世界を操作する「身体性を欠いた亡霊の視線」と言えようか。自伝のなかで言っているように、生きているうちから死の領域にいるかのように肉体性を消去し観察する視線だけの存在になることをハーディは願っていた。⁽⁸⁾ . . .

. . . (中略) . . .

(8) Michael Millgate, *The Life and Work of Thomas Hardy* (Macmillan, 1984) 218

橋本槇矩. ハーディの「亡霊」とはなにか? : 小説から詩へ. 学習院大学文学部研究年報. 2007, No. 54, p.37-53.

⇒ (8)の自伝の内容を下線部のようにまとめて、引用している

引用の具体例(2)

○ 引用の具体例 福井憲彦学長の場合

谷川氏の表現を引用すれば、「支配的文化なるものは単一の階級文化で代表されるわけではなく、利害を異にする複数の^{エリート}指導的文化の競合と相互規定による一時的帰結、もしくは流動的態様にすぎず、民衆文化も同様に心性を異にするサブカルチャが前者の圧力を受けながら錯綜して混在しているのにすぎない。」(傍点・ルビ原文)

福井憲彦・谷川 稔・原田一美・谷口健治・田中正人・渡辺和行・小林亜子・小山静子・栖原彌生・山田史郎・村上真弓・藤川隆男・常松 洋・小澤英二・松井良明著『規範としての文化-文化統合の近代史-』。史學雑誌, 1991, vol. 100, no. 9, p.1604-1614.



基本は「」や“”で括るだけでOK

引用の具体例(3)

○ 長い引用の例 松島正一教授の場合

ここでは自然と世界が調和し、生きとし生けるものがその存在を祝福されている。

How sweet is the Sphepherd's sweet lot!

From the morn to the evening he strays:

(中略)

彼が見守っているあいだ羊たちは平和でいられる、
だって羊たちは羊飼いが近くにいるのを知っているから。

(『羊飼い』)

牧歌の俚言はギリシアのテオクリトス (Theocritus, 310-250 BC) にまでさかのぼる長い歴史がある。ローマのウェリギリウス・・・

松島正一. 牧歌と無垢:ブレイクの初期の詩. 文学部研究
年報. 2006, no. 53, p.95-116.